

# JASDAQオープン

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2018年9月19日～2019年9月17日

第 25 期 決算日：2019年9月17日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、JASDAQ上場株式を主要投資対象とし、  
中長期的に成長が期待できると判断する銘柄を個別に選定  
することにより、JASDAQ INDEXを上回る投資成果  
をめざして運用を行ってまいります。ここに運用状況をご報  
告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運  
用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第25期末 (2019年9月17日)

基準価額	17,312円
純資産総額	3,017百万円
騰落率	-10.6%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

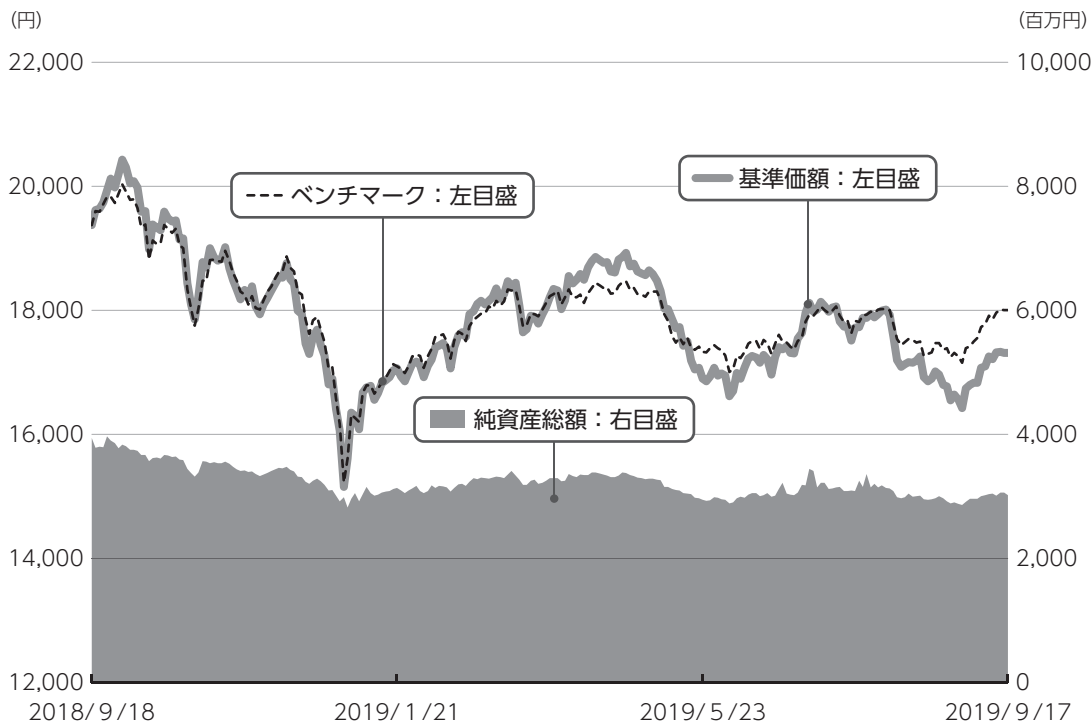
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第25期：2018年9月19日～2019年9月17日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第25期首	19,373円
第25期末	17,312円
既払分配金	0円
騰落率	-10.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ10.6%の下落となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.1%）を3.5%下回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

米国金利の引き上げペースが緩やかになる可能性などを背景に国内株式市場が一時的に上昇したことなどが基準価額の一時的な上昇要因となりました。

**下落要因**

米中貿易問題への不透明感などを背景に企業業績の先行き懸念が高まったことなどから国内株式市況が下落したことや組み入れを行った個別銘柄の株価下落などが基準価額の下落要因となりました。

**銘柄要因**

上位5銘柄・・・ワークマン、ヒビノ、東映アニメーション、インフォコム、精工技研

下位5銘柄・・・夢の街創造委員会、UTグループ、メイコー、芝浦電子、ラック

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、JASDAQ INDEXです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年9月19日～2019年9月17日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	254	1.423	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(119)	(0.668)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(116)	(0.647)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 19)	(0.108)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.046	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 8)	(0.046)	
(c) その他費用	1	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	263	1.472	

期中の平均基準価額は、17,861円です。

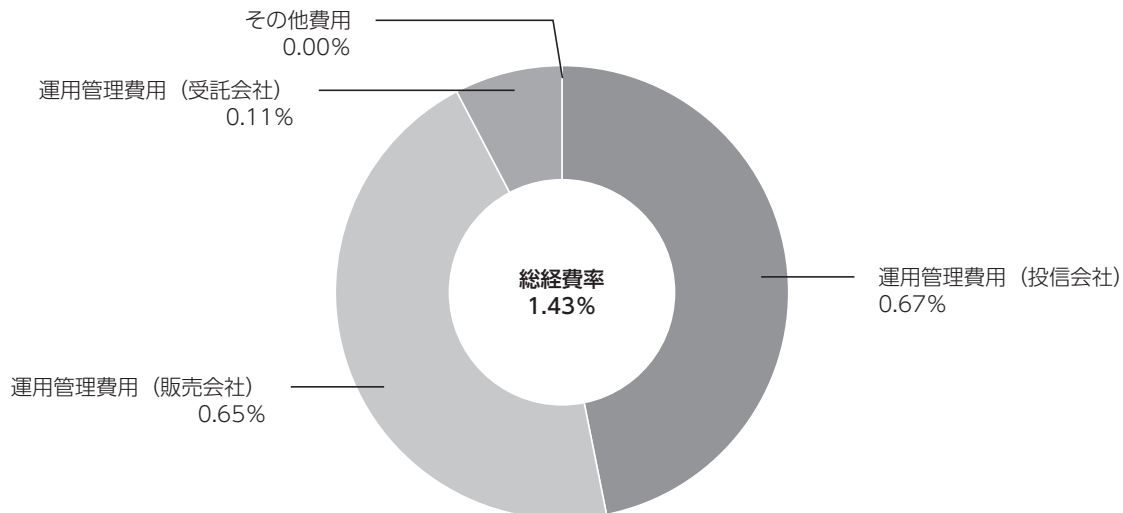
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.43%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

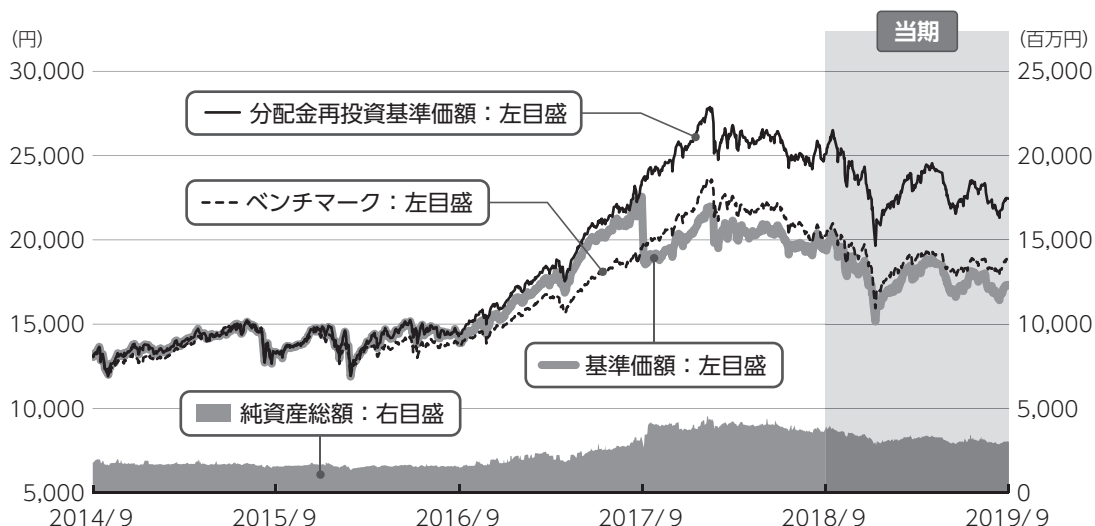
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年9月16日～2019年9月17日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2014年9月16日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/9/16 期初	2015/9/16 決算日	2016/9/16 決算日	2017/9/19 決算日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日
基準価額 (円)	13,121	13,207	13,878	18,692	19,373	17,312
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	50	500	4,100	450	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.0	8.9	64.2	6.1	-10.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	1.7	3.4	43.5	2.5	-7.1
純資産総額 (百万円)	1,777	1,547	1,491	2,677	3,940	3,017

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、JASDAQ INDEXです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第25期：2018年9月19日～2019年9月17日

## 投資環境について

### ▶ JASDAQ市況

#### JASDAQ INDEXは下落しました。

期首から2018年12月下旬にかけては米国金利が上昇する場面があったこと、米中間の貿易摩擦の激化に伴い世界経済や企業業績の先行きに対して投資家の懸念が強まったことなどを背景に下落しました。

2019年1月上旬から4月中旬にかけては、米国金利の引き上げペースが緩やかになる可能性や、中国の景気対策に対する期待などから、回復基調となりました。

4月下旬から期末にかけては、米中貿易問題における交渉状況や各国中央銀行の金融政策、企業業績などを巡って一進一退の展開となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

JASDAQ上場株式のうち独自の技術やノウハウを有し、中長期的な成長が見込める企業などに選別投資を行いました。

組入銘柄数は53～58銘柄程度で推移させました。期首、期末の比較では、音楽等のランキング情報などを手掛けるオリコンなど2銘柄

を新規に組み入れました。一方、JASDAQから市場変更のあった、ITサービスを提供するインフォコムや経営コンサルティングなどを手掛ける山田コンサルティンググループなど6銘柄を全株売却しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.1%）を3.5%下回りました。

### プラス要因

#### 業種配分要因

卸売業をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことなどがプラスに寄与しました。

#### 銘柄選択要因

ヒビノや精工技研をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

### マイナス要因

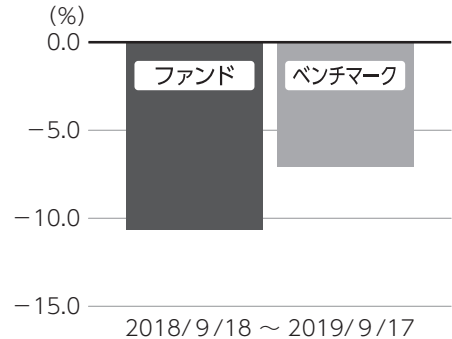
#### 業種配分要因

その他製品をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことなどがマイナスに影響しました。

#### 銘柄選択要因

放電精密加工研究所や芝浦電子をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

### 基準価額と ベンチマークの対比（騰落率）





## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第25期
	2018年9月19日～2019年9月17日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	7,311

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

主としてJASDAQ上場株式に投資します。各調査機関の企業調査データの活用や企業訪問などを通じ、中長期的に成長が期待できる企業に積極的に投資します。

技術力や経営資源だけでなく、事業環境の変化に対し明確な意思決定と強いリーダーシップを持つマネジメント力によっても、企業価値を継続的に高めることが可能と考え、このような企業にも積極的に投資する方針です。

今期の業績見通しに慎重な見方をする企業が多くみられる一方、小型株の中には高い技術力や独創的なサービスなどで好調な業績が続く見通しの企業もみられたと感じております。今後も中長期的な成長性や競争力などを勘案し、投資判断を行います。また、個別銘柄選別をコアの投資戦略としつつ、マーケット全体の方向性やセクター動向なども注視していく所存です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

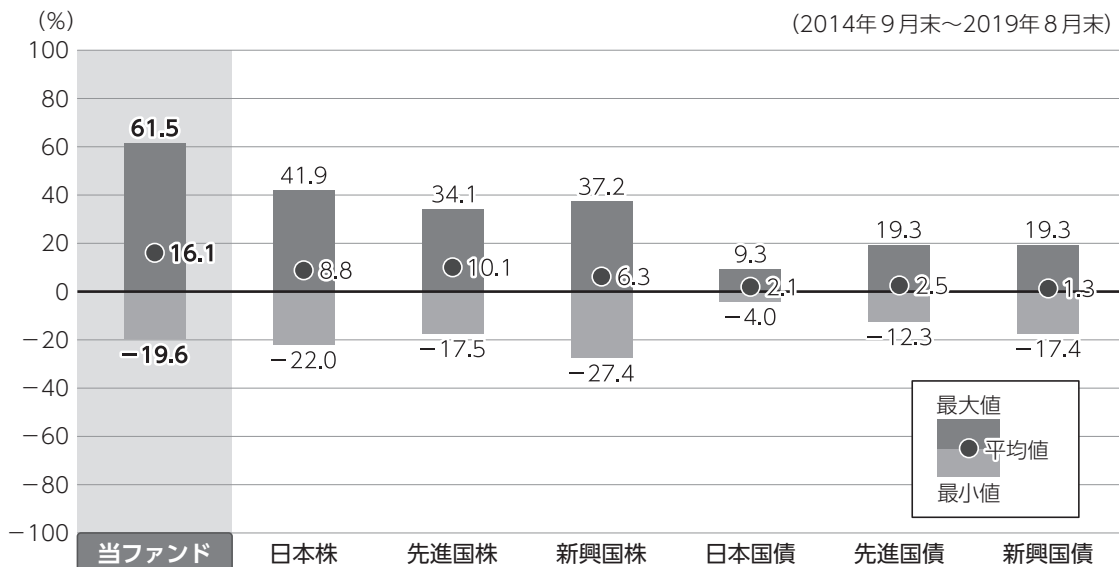
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2024年9月13日まで（1994年10月14日設定）
運用方針	JASDAQ上場株式へ投資し、信託財産の成長をめざします。運用にあたりましては、JASDAQ INDEXをベンチマークとしてアクティブ運用を行います。
主要投資対象	JASDAQ上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	JASDAQ上場株式を主要投資対象とし、中長期的に成長が期待できると判断する銘柄を個別に選定することにより、JASDAQ上場銘柄の指標であるJASDAQ INDEXを上回る投資成果をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年9月から2019年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年9月17日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：54銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	日本マクドナルドホールディングス	株式	日本	小売業	6.9
2	ワークマン	株式	日本	小売業	5.5
3	ハーモニック・ドライブ・システムズ	株式	日本	機械	4.7
4	東映アニメーション	株式	日本	情報・通信業	3.6
5	ハーバー研究所	株式	日本	化学	3.4
6	NITTO K U	株式	日本	機械	3.2
7	ナカニシ	株式	日本	精密機器	3.1
8	沖縄セルラー電話	株式	日本	情報・通信業	3.0
9	フルヤ金属	株式	日本	その他製品	2.9
10	セブテーニ・ホールディングス	株式	日本	サービス業	2.9

※比率は純資産総額に対する割合です。

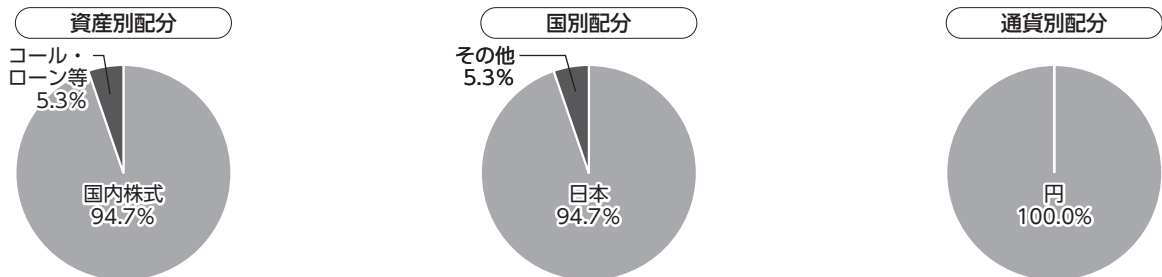
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 純資産等

項目	第25期末 2019年9月17日
純資産総額 (円)	3,017,962,269
受益権口数 (口)	1,743,279,842
1万口当たり基準価額 (円)	17,312

※当期中において追加設定元本は2,226,283,102円  
同解約元本は 2,516,935,322円です。

### 種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『JASDAQ INDEX』について

JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI (国債)

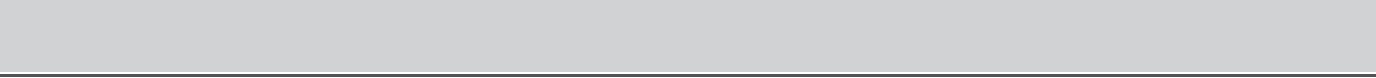
NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信